

創立20周年にむけ前進を

第1号議案 事業報告 2011年度活動のまとめ(案)

1. 事業活動

引き続き、組合員の利用参加を強めることを重視し、役職員一体で経営改善に力を尽くしました。事業収益は3億803万円(昨年比103%)となり、昨年を越える収益で過去最高の事業高となりました。しかし、人件費の増加額が増収額を上回り、人的体制強化の効果を十分に反映しきれませんでした。事業別にみると、訪問看護、居宅支援事業所、訪問ヘルパーの3事業所が赤字となり、法人全体としては依然きびしい経営状態が続いています。

東日本大震災後には薬剤の不足や車両の入替えの遅延などがありましたが、事業的には大きな影響を受けずに運営することができました。

2012年2月に設立された大阪民医連南ブロック運営協議会に参加しました。

[医療事業]

- 診療所の患者件数は月平均1,131件(昨年1,138件)とやや減少となりました。ひきつづき新しい患者は増えています。
- アスベスト外来では2010年度、新たに4名の方が労災認定を受けることができました。アスベスト外来の受診者数は累計で230名を超えました。
- 受診数は年間1,500件の目標に対し、1,235件の到達となりました。2010年度から約30件の増加となりました。支部ごとの日曜健診の組織にひきつづきとりくみました。組合員の特定健診は約40件増加し、少しずつですが組合員の利用がすすんでいます。協会けんぽの生活習慣病予防健診や事業所健診も、ひきつづき増加しました。



昨年の総代会のようす

- 予防接種診療がはじまりました。インフルエンザワクチンの供給不足が影響し、予防接種件数は昨年とほぼ同じでしたが、予防接種の収益は約50%の増加となりました。
- 無料低額診療は、医療福祉生協や民医連の全国的なとりくみとなっていますが、認定基準や薬局が対象外となるなど課題も多く、今後も情報を収集しながら検討をおこないます。
- 医師体制の問題は利用者増のとりくみの大きな課題となっています。

[福祉事業]

- 居宅支援事業は件数が伸び悩んでいましたが、10月以降に地域包括センターからのケアプラン依頼が増加し、現在は130名を超えるケアプラン数となっています。
- デイサービスは80名を超える利用者数で黒字経営が続いています。
- 訪問ヘルパー事業は開設3年を迎え、利用者数は50名を超えるようになりましたが、ヘルパーの確保が困難な状況が続いています。2011年9月には障がい者自立支援法の施設認可を受けました。
- 訪問看護は60名前後の利用者数となっています。看護師体制の問題から利用増のとりくみが思うようにすすみませんでした。

2. 社会保障充実をめざす とりくみ

- 医療介護の学習会、自治体交渉など住民の暮らしを守る立場で岸和田社保協、忠岡社保協に結集し運動を進めてきました。特に今年度は「介護・くらし電話110番」を実施し、阪南医療生協からも相談員として多くの職員が参加しました。
- 介護保険学習会は法人主催と東岸和田支部主催の2度開催しました。支部主催の学習会では介護事業者の人たちの参加もありました。
- 今年も医療福祉生協連の呼びかけにもとづき「バレンタイン行動」として、2月9日にスーパーサンエー前で社会保障の充実、原発廃止、アスベスト裁判支援の署名と宣伝活動を行いました。単発的な宣伝活動に終わっているのので、健康チェックの活動とともに、定期的な宣伝行動も考えていく必要があります。

3. 頼りになる 医療生協をめざして

- 日曜健診を支部単位でとりくみました。まだ組織率は高くありませんが、支部のとりくみとして地域への訴えがひろがっています。



バレンタイン行動で社会保障の充実を訴える

- 大阪・泉南アスベスト国家賠償請求裁判への支援活動として署名、集会参加、裁判傍聴を進めてきました。原告の方たちも高齢で重症化しています。早期解決が求められており、支援活動を強化していくことが求められています。



東日本大震災の支援活動にとりくむ

- 春木旭町支部を中心としたサンエー前の街かど健康チェックが定着し、吉井・新条支部合同のとりくみでスーパー松源前街かど健康チェックも開始されました。血液サラサラ班会も引き続きとりくまれ健康づくりにとりくんでいます。
- 2011年度は126世帯の方に新たに阪南医療生協に加入していただき、3,313世帯の到達となりました。出資金は年間で602万円の減少となりました。定款地域外に居住されている方の法定手続きによる脱退、職員の退職に伴う脱退などが大きな要因となりました。
- 支部長会議を定例開催し、地域ごとの訪問行動、班会内容の交流などができました。
- 支部の多彩な活動として薬膳料理、おしぼな、絵手紙、スローウォーキングなど定着したとりくみとなっています。
- 健康まつり、バスツアーは多くの組合員が参加するとりくみとなっています。
- 南ブロック運営協議会が設立され加盟しました。

役員選挙についての公告

2012年4月1日 理事長 黒石 光男

つぎのとおり、役員選挙をおこないます。

- (1) 選挙すべき役員の定数は、つぎのとおりとします。

理事16名 監事2名

任期は、第21回総代会から2年間。

- (2) 立候補・候補者推薦の受付期間、届出方法と受付場所等は、つぎのとおりです。

- ①受付期間 5月28日(月)～5月30日(水)
受付時間は、午前10時～午後7時30分とします。

②届出方法

所定の届出用紙により、届け出てください。候補者を推薦する場合は、必ず本人の同意を得てください。届出用紙は、医療生協本部にあります。

③受付場所 医生活協本部

- (3) 投票は、6月17日(日)の第21回通常総代会において行います。ただし、立候補者が定数内の場合は、投票を行わず、全員を当選とします。
- (4) 選挙権及び被選挙権を有するのは、3月31日現在の組合員名簿に登録されている組合員です。以上

医療生協をとりまく情勢の特徴

消費税増税と社会保障切りすての "一体改革"案

野田内閣は、ことし2月「社会保障・税一体改革素案」を決定しました。「社会保障の安定財源確保と財政健全化の同時達成」をうたい、消費税を2014年4月から8%、15年10月から10%、さらに近い将来には15~21%に引き上げる増税を打ち出す一方、年金支給額の大幅カット、保育の公的責任を放棄する「子ども・子育て新システム」の創設、国民健康保険料値上げにつながる市町村国保の都道府県単位化、介護保険の利用者負担増、70~74歳の医療費窓口負担を2割に、医薬品の患者負担増、生活保護の見直しなどを段階的に実施するというものです。まさに、消費税の増税とあらゆる分野で社会保障を切り捨てる、最悪の"一体改悪案"といわなければなりません。

医療・介護分野で給付の削減と負担増ねらう

長引くデフレ不況に加え、円高と世界経済の悪化の影響を受け、日本経済はひきつづき深刻な状況が続いています。青年を中心に就職困難や高い失業率が続き、将来への不安が広がっています。

医療・介護の分野では、給付の削減と窓口負担、利用料の値上げがいつそうすすめられようとしています。2012年度の診療報酬と介護報酬は実質マイナス改定で、医師・看護師不足問題とあわ

せ、医療・介護事業の経営困難と地域の医療崩壊は深刻な状態です。介護保険制度は「地域包括ケアシステム」により、日常生活圏域で24時間365日対応が課題となる一方、患者・利用者が受け皿の有無にかかわらず在宅へ誘導させられようとしており、低介護度者の保険給付はすもたくらまれています。また、後期高齢者医療、介護保険、厚生年金、協会けんぽ、国民健康保険の保険料が値上げされます。

政府や財界が押し進めようとしているTPP（環太平洋連携協定）への参加は、農業をはじめとする産業だけでなく、アメリカからの医薬品、医療材料、民間医療保健の大量輸入、混合診療の解禁、株式会社の医療への算入など、医療事業にも大きな影響をもたらします。

原発ゼロと民主主義をまもる たかひの発展

東日本大震災から1年経った今も復興は遅々として進まず、原子力発電所事故による放射線被害で家に帰れない被災者も多く残されています。被災者の生活再建と"原発ゼロ"を求める運動がますます重要になっています。

橋下大阪市長が行った憲法違反の「思想調査」職や「教育基本条例」「職員基本条例」は職員だけでなく、府民をも独裁的に支配することをたくらむものであり、全国的に強い批判が巻き起こっています。沖縄の基地問題、衆議院の比例定数80の削減問題など、平和と民主主義を守るたかひもいつそう重要な段階をむかえています。

総代選挙についての公告

2012年4月1日 総代選挙管理委員長
横江 嘉雄

つぎのとおり、2012年度の総代選挙をおこないます。

(1) 定数及び選挙区

定数は150名とし、選挙区および選挙区ごとの定数は次のとおりとします。

選挙区	定数	選挙区	定数
和泉市・高石市・泉大津市	4	岸和田市 光陽・岸城・野村中学校区	21
忠岡町	6	" 久米田・山直・山滝中学校区	22
岸和田市 吉井町	17	" 桜台・土生・葛城中学校区	15
" 春木旭町	17	貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市	11
" 中井町・荒木町	18	熊取町・岬町	
" 春木中学校区	15	職 域	4

(2) 立候補・候補者推薦の受付期間と受付方法

- ①受付期間 5月14日(月)~5月16日(水)
受付時間は、午前10時~午後7時30分とします。
- ②届出方法 所定の届出用紙により、届け出てください。候補者を推薦する場合は、必ず本人の同意を得てください。届出用紙は、医療生協本部にあります。

③受付場所 医療生協本部

- (3) 投票 候補者数が定数を越えた選挙区については、後日投票を行います。定数内の場合は、全員を当選とします。当選者名は、阪南医療生協掲示板に掲示して発表します。

- (4) 選挙権及び被選挙権を有するのは、3月31日現在、組合員名簿に登録されている組合員。ただし、総代選挙管理委員、理事、監事は候補者になることはできません。

以上

1. 事業活動

- 医療、介護の連携で「地域包括ケア」にとりくみます。
- 地域のニーズに適した新たな介護事業の展開をすすめます。
- すべての事業所で経常利益をつくりだします。
- 事業活動と組合員活動の連携を強め、利用者増をはかります。
- 安全、安心の質の高いサービスを提供します。
- 職員教育を重視し、人づくりをすすめます。

[医療事業]

- 在宅医療（訪問診療、往診）を充実させるため、医師体制の強化にとりくみます。
- 特定健診、後期高齢者健診、事業所健診の受診率を高めるため受診しやすいシステムづくりをすすめます。
- 医療と介護事業所合同で事例検討会や学習会にとりくみます。
- 2013年の設立20周年を展望し、要望の多いCTの導入を検討します。

2. 社会保障充実をめざす とりくみ

- 国は「税と社会保障の一体改革」として医療・介護の改悪、消費税増税など国民生活を破壊しようとしています。社会保障充実のとりくみを全組合員に呼びかけ運動を強めます。
- 泉南アスベスト裁判の早期解決をめざしてひきつづき支援活動をすすめます。
- 医療、介護の日常相談活動を強めます。
- 原発の即時廃止をもとめる活動とともに、憲法9条、25条を守る活動を強めます。
- 憲法違反の「大阪教育基本条例案」「職員基本条例案」の撤回を求めて、岸和田連絡会に結集してたたかいを進めます。

[福祉事業]

- 小人数の通所介護（デイサービス）を新たに開設します。
- 岸和田市地域包括支援センターの業務受託を展望します。
- 「地域包括ケア」の実践にとりくみ、訪問看護、ヘルパー事業を充実させます。
- 入居やショートステイが可能な施設について検討します。



市民フェスティバルで健康チェック

3. 地域で頼りになる 医療生協づくりをすすめます

- 仲間ふやし3,500世帯、出資金1億5,000万円をめざしてとりくみます。
- CTの導入にむけ、1,000万円の増資活動にとりくみます。
- 多様な健康づくり、生きがいづくりの班活動を広げます。
- 「高齢者にやさしいまち」の活動を強めます。
- 「災害に強いまちづくり」を支部と事業所の共同でとりくみます。
- 定款地域拡大にともない新支部づくりの働きかけを強めます。
- 安心のまちづくり・健康づくりを支える担い手をふやします
- 組合員が組織する健診活動にとりくみます。
- 院所利用委員会の活動を福祉事業にも広げ、利用者の満足度向上にとりくみます。
- 南ブロック運営協議会としての共同事業をすすめていきます。
- 2013年の設立20周年にむけ、記念行事の実行委員会をたちあげます。